

Course number		U-LAS54 10002 LJ38									
Course title (and course title in English)		京都大学の歴史 History of Kyoto University		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Kyoto University Archives Professor,NISHIYAMA SHIN					
Group		Career Development		Field(Classification)		Other Career Development Courses					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Tue.4		Target year		All students		Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]											
<p>創立から「大学紛争」後までの京都大学を中心とした大学・大学生の歴史を扱う。個性豊かな京都大学の歴史を年代を追ってテーマ別に考察し、さらに他の大学や当時の社会状況を合わせて示すことで、それぞれの時代の大学の姿はどのようなものだったのか、学生をはじめ大学に関わる人々が何を考え、いかに行動したのかについて明らかにしていく。本講義は、「京都大学の歴史」と銘打ってはいるものの、京大の歴史を網羅的に講義するものではないし、偉大な研究者の紹介を行うものでもない。ましてや、受講生に「愛校心」を持ってもらうために行うわけではない。京大の歴史という一つの素材を通じて、歴史的に物事を見る重要性、自分の頭で考えることの大切さを理解してもらい、そうしたことを踏まえて現在の大学・大学生について見つめ直す手がかりを提示することを目的としている。</p>											
[Course objectives]											
<p>上記の「授業の概要・目的」にあるように、資料に基づき、歴史的に物事を見ることの重要性を理解する。そして、現在の大学や大学生である自分自身について、そうした歴史性を踏まえて考えることができるようになる。</p>											
[Course schedule and contents)]											
<p>以下のテーマを設定して、原則として1テーマ1回で京都大学を中心とした大学・大学生の歴史について講義する。その際、できるだけ多くの資料を示して、それぞれの時代の大学・大学生の姿を具体的に示すよう努める。</p> <ol style="list-style-type: none">1．ガイダンス 講義のねらい2．京大キャンパスの歴史 京大のある吉田とはどういう地だったのか、創立期の京大と京都との関係など3．京都帝国大学の創立 - 「自由の学風」の源流 - 京大創立の経緯、創立期京大の特徴など4．滝川事件 - 何が問題だったのか - 事件の発端、経緯、背景、意味など5．戦争と大学 - 「協力」の諸相 - 理科系・文科系の戦時研究、知識人と社会の関係など6．出征する学生たち - 「学徒出陣」 - (1) 学徒出陣の制度、出陣学徒数・戦没者数など7．出征する学生たち - 「学徒出陣」 - (2) 学徒兵たちの意識、多様性など											
<div>-----</div> <div>Continue to 京都大学の歴史(2)</div>											

京都大学の歴史(2)

8. 敗戦と新制京都大学の発足
敗戦直後の京大、戦後教育改革・新制大学発足の意義など
9. 占領期の学生たち
敗戦直後の学生、1950年前後の学生運動など
10. 高度経済成長期の大学と学生
学生運動の分裂、高度成長下に変化する大学と学生気質など
11. 「大学紛争」とその背景（１）
大学紛争の特徴、経過、要因など
12. 「大学紛争」とその背景（２）
紛争をめぐる様々な言説、紛争の背景、影響など
13. 紛争後の大学
紛争後の学生、現在の大学など
14. 講義のまとめ

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

各回の講義後に提出するコメントと期末試験もしくはレポートを合わせて評価する。配点の割合は講義において示す。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

時間内に多数の資料を配付するので、授業後にそれらの資料をよく読み返し、自分の理解を確認することが必要である。

[Other information (office hours, etc.)]